

西蒲区農業委員会 だより

第50号
2019年
10月1日発行

新潟市西蒲区農業委員会 〒953-8666 新潟市西蒲区巻甲 2690 番地 1 TEL.0256-72-8631



JR出資法人の トマト工場を視察



農業委員会では、6月20日から21日にかけて、先進的農業を学ぶ、視察研修を実施しました。今年度は、福島県で、JR出資法人による、トマトのハウス栽培などを視察しました。

令和元年度 視察研修

福島県

JRとまとランドいわきファーム
ワンダーファーム

株式会社JRとまとランドいわきファームは、「有限会社とまとランドいわき」と「東日本旅客鉄道株式会社」が共同出資してできた会社で、農業生産を通して、地方の生産者と都市の消費者をつなぎ地域の活性化を目指し、約1.7ヘクタールの太陽光利用型の栽培施設で、年間600トンのトマトを収穫しています。収穫したトマトは、市場出荷するほか、隣接する六次産業化施設の「ワンダーファーム」のレストランの食材や加工品の材料として活用されています。

研修レポート



農地利用最適化
推進委員
大滝 幸子

(巻)

新人の私としては、農業委員としての資質向上と業務活性化のための視察研修です。2件の研修先でした。1日目は太陽光利用型植物工場で、株式会社JRとまとランドいわきファームです。驚いたことは、一年一作のトマトの作り方で、何回ものつる引きがされ、

JAしらかわアグリ

JAしらかわアグリは、JA夢みなみ農業組合の出資により設立された、JA出資型の農業生産法人で、農業の受託事業のほか、ライスセンターやほと麦加工工場の運営などの業務を受託し、平成28年度の業務実績は1億2千万円となっております。



見事でした。この施設はJR東日本が、耕作放棄地を活用し、農業生産を通じた地域の活性化を目的として設立したものです。私のトマトの方が甘かったのですが、みやげに買ってしまいました。

2日目は、株式会社JAしらかわアグリです。担い手不足に対応して、JA出資型の農業生産法人として発足したものです。どこも同じような現状で、農地を守るため努力しているんだなあと感じ、有意義な2日間でした。

一人ひとりの農業者を応援 農業者年金に 加入しましょう

農業者の方なら
広く加入できます



後継者とその配偶者

次のすべての要件に該当する方が農業者年金に加入することができます。

【加入要件】

- ①年間60日以上農業に従事する
- ②国民年金の第1号被保険者(保険料納付免除者を除く)で、
- ③20歳以上60歳未満の方

【特徴】

- ①80歳までの保証がついた終身年金
- ②保険料(月額2万円~6万7千円)は、加入者が選択できます。
- ③公的年金のため、保険料は全額社会保険料控除の対象になります。
- ④一定の要件を満たす若い農業者には保険料の国庫補助があります。
- ⑤詳細については、独立行政法人農業者年金基金のホームページ(<http://www.nounen.go.jp>)をご覧ください。

【問合せ先】

西蒲区農業委員会(☎0256-72-8631)又はJA越後中央各支店へ

令和元年度 農地パトロール・ 荒廃農地調査

農業委員会では、管内の農地を巡り、違反転用や耕作放棄が疑われる農地の実態を、7月中旬から8月下旬にかけて調査しました。
農地を守り、適切で効率的な利用を進めるため、調査結果に基づいて、所有者の皆さんとの話し合いなどを行っています。



農地パトロールの様子

許可のない転用は違法です

農地を農地以外の目的に利用するには、農業委員会が行う、転用許可が必要です。また、短期間に一時的に農地以外に利用する場合も、一時転用として許可が必要です。

許可を得ないで転用を行った場合には、農地への回復が求められることもありますので、農業委員会への手続きを忘れずに行ってください。

無くそつ！ 荒廃農地

農業委員会では、優良農地の確保と有効利用の促進を目的に、荒廃農地の発生状況を調査しています。

調査結果に基づいて、所有者に農地の利用意向や計画を調査し、話し合いなどを通して、効率的な利用を促します。

効率的な利用が進まない農地については、固定資産税が増額される場合もあり、注意が必要です。

地域別農業委員会研修会

新潟県農業会議の主催で、下越地区の地域別農業委員会研修会が西蒲区の西川多目的ホールで開催されました。

農地利用の最適化や、農地中間管理事業に関する法改正に伴う「人・農地プランの実質化」に向けて開催されたものです。

研修会では、講師の群馬県立女子大学の佐々木教授から、グローバルな視点から見た日本の農業のこれからと、農業委員会活動の重要性や期待される役割について講演がありました。



荒廃農地調査の様子

QRコードをお使いください

農業委員会のホームページや農業委員会だよりのバックナンバーを検索するには、QRコードを使うと便利です。



ホームページ検索用



バックナンバー検索用



委員のリレートーク



農地利用最適化
推進委員
小林 守
(潟東)

立秋も過ぎて稲穂も色付き実りの秋を迎えようとしています。

農地利用最適化推進委員になって二期目となり、一期目の時の様に何もわからず、総会に出席しても専門用語に戸惑う様な事や農地パトロールまたは、現地確認等での戸惑いも少なくなりましたが、まだまだ日々勉強するところが大いにあります。昨年の暮れから潟東地区も圃場整

備の声が各地区から聞こえて来るようになりました。

私も地元地区の説明会等に参加してみて、これからは大圃場での農業を行っていくのが普通になるのかなと思う反面、参加者は若い世代は数人しかいなくて農業にも少子高齢化が進んでいるように思われました。

これから10年後、20年後はどんな世の中でのどんな生活をし、どんな農業になっているのか想像ができませんが、若い世代が魅力を感じる農業になっていくために生産者、JA、行政が協力し合って新規就農者育成、担い手育成等に取り組んで遊休地、耕作放棄地を少しでも減少していければと思います。

なないろ野菜

JA越後中央農産物直売所、越王(こしわ)の里では、8月から、色々な野菜の販売を行っています。



6日には、鈴木区長もトップセールスを行い、新たな産地化を目指して、色とりどりの野菜が販売されています。

農業委員会の主な動き(19.5月~8月)

委員とは、農業委員及び農地利用最適化推進委員です。

5月 17日	第1回巻地区審査委員会(巻地区委員) 第2回代表者会議(委員11名)
21日	新規農業委員・農地利用最適化推進委員 研修会(委員8名)
23日	西蒲区農業振興協議会総会(会長・委員5名)
27日~28日	全国農業委員会会長大会(会長)
28日	5月調査委員会(委員8名)
29日	西蒲区農業再生協議会総会(会長)
30日	5月定例総会(委員33名) 飛砂対策総会(委員2名)
6月 1日	味噌づくり教室(委員3名)
3日	新潟市6農業委員会 第4回委員研修(委員26名)
5日	新潟地域農業振興協議会総会(会長)
8日	耕作放棄地解消プロジェクト除草作業(委員17名)
12日	新潟市6農業委員会連絡協議会 (会長、会長職務代理)
20日~21日	県外視察研修(委員34名)
23日	耕作放棄地解消プロジェクト看板移設・ 整地作業(委員8名)
25日	6月調査委員会(委員6名)
27日	農業会議巡回相談(会長)
28日	6月定例総会(委員33名) 第4回代表者会議(委員11名)
7月 2日~3日	市町村農業委員会会長・情報事業推進 会長合同会議(会長)
11日	地域別農業委員会研修会(委員34名)
13日	岩室・中之口地区農地パトロール(委員15名)
14日	西川・潟東地区農地パトロール(委員15名)
18日	農地部会(委員23名) 第5回代表者会議(委員10名)
20日	巻地区農地パトロール(委員15名)
24日	西蒲区サミット(会長)
26日	7月調査委員会(委員6名) 全委員研修会(委員46名)
31日	7月定例総会(委員30名)
8月 17日	中之口地区荒廃農地調査(委員7名)
20日	第2回新潟市6農業委員会連絡協議会 (会長、会長職務代理)
21日	巻地区荒廃農地調査(委員12名)
27日	8月調査委員会(委員7名)
30日	8月定例総会(委員29名)

農地に関する各種申請の日程(10月~1月)

農地法関係			農業経営基盤強化促進法関係		
月	申請締切日	総会	月	申出締切日	市の公告日
10月	10日(木)	31日(木)	10月	25日(金)	12月13日(金)
11月	11日(月)	29日(金)	11月	22日(金)	1月20日(月)
12月	6日(金)	26日(木)	12月	23日(月)	2月17日(月)
1月	10日(金)	31日(金)	1月	24日(金)	3月13日(金)

全国農業新聞

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

週刊 月4回(金曜日発行)

月 700円(税込) 年 8,400円(税込)

■購読の申し込みは、西蒲区農業委員会または地元委員へお気軽にご連絡ください。
■3か月無料のお試し購読もご利用ください。